

対象 (時間): 15 名 (60分程度)

対象: 小も保護者(とうすじ中学生)

教材番号「26」:

【ねらい】 親が「H-タイ等の危険性についてしっかりと共有しあう。

【準備物】 学習者:

主催者:

時間	活動の展開	留意点	備考
(5分)	ファシリタの紹介		
5	アイスブレイク 猛獣狩りに行くよ	グループ 5人×3グループ ... 内容が「H-タイ」なので、動いて、楽しめるもの (ルカ、コウモリ音 流す)	
10	0タイトル、わらいを読み、エピソードを読んでもらう。 設問の③ ふせん書いて すぐ出してもらう	読む人は、サッと決める。 ... 机に直接貼ってもらっても良い。 ... 参加者の子どもの喉を思いだしてもらうために、その喉はやっていった事、モノで声をかける。(ex. H-タイ、モーター)	
15	0利用実態について	・「H-タイに限らず」、アウトドア全般について話してもらう。 ・グループの話し状況を見つつ、情報提供をする。 ・具体的な数字、具体的な内容	→ 専門家が 高い内容については、あらかじめ、依頼しておく。 (5分)
5	(専門家の話)		
10	ルール作りについて 最初のふせんをもう一度使う	「このようなことについて、どんなルールが いいですか?」 (せわらかく)	
		0個々の家庭のルール作りは、子どもと話をしながらやってみましょう。1つでもいいです。 0親ができる セキュリティについて、資料の配布	
5 10	0まとめ、アンケート		

〈実施の上でのポイントなど〉

○ アウトメディアについて 良〜く 知ってもらおう。

↑ (知らない事が、山ほどある)

ワイファイ、アプリ、SNS、フェット、おんちが、通信

○ 子供もを守るのは大人であること。

○ 「知らない」ことを知ってもらいたい。

位置情報
個人情報
が漏れる。

○ しっかりと 情報提供

はきた情報、具体的な数字、具体的な事件。

○ 最後は、「今すぐ」できる対策」を1つでも

持って帰ってもらって、実践 できること。